





探索的因子分析





 Q1


 Q2


 Q3

 Q4

 Q5



 Q6

 Q7

 Q8



変数

方法

抽出法 最小残差法 ▼

回転法 オブリミン ▼

因子数

☒ 平行分析に基づく

☐ 固有値に基づく

固有値の最小基準値 0

☐ 数値指定

1 個の因子を抽出

前提チェック

☐ バートレットの球面性検定

☐ KMO標本妥当性指標

因子負荷

これ未満の負荷量を隠す 0.3

☐ 負荷量順に並び替え

追加の出力

☐ 因子の要約量

☐ 因子の相関

☐ モデル適合度指標

☐ 回転前の固有値

☐ スクリーンプロット